



龍門滝



かじき

広報

人口・世帯の動き

(平成8月1日現在)

総人口23,531人(△7)	出生 15人
男 10,971人(△10)	死亡 18人
女 12,560人(△3)	転入 81人
世帯数 8,720 (△2)	転出 88人

●()内は前月との比較●

題字 宇都宮町長

チビッ子消防隊

いま鹿児島が危ない！
これまで地震は、関東以北
のものと信じてきたが、その
神話がくずれた。阪神淡路大

震災を引き金に急に南下して
きたと思ったら、私たちのす
ぐ近くで暴れ出した。その地
震のときの火事は目に余る惨
状で、つくづくと火事の怖さ
を思い知らされた。
「私たちは決して火遊びを
いたしません——」

正月の青空にはつらつとし
た声が高らかにひびいた。こ
れは町出初式に出演した幼年
消防隊員の誓いの言葉である。
いざ、火災というときは消防
団の方が頼りだ。チビッ子消
防隊の晴れ舞台に、末頼もし
い未来の風を感じた。



川野・高井田保育園の子どもたち

平成8年

1

月号

今月のページ

☆新年のごあいさつ……2～3ページ	☆議会報告……4ページ
☆消防出初式……5ページ	☆まちの話題……6～8ページ
☆鹿児島広域都市圏……9ページ	☆アンの目……10ページ
☆棕櫚十……11ページ	☆お知らせ……12ページ

平成8年

加治木町長

宇都宮 明人



特急きりしま
加治木に停まる



さえずりの森オープン

「がんばる自治体」 として邁進



新年明けまして

おめでとうございます。

町民の皆様もご健勝にてよき新年をお迎えのことと存じます。

平素は町政の推進に一方ならぬ御支援御協力を賜り衷心より厚く御礼申し上げます。

さて、今年は平成八年子年。古来、日本、中国にはこの八と子には、八の字末広がりや子、ねずみ算的にあらゆるものが増えるなど、縁起のいい諸々の説がありますが、今年はよりよい年でありたいと願うばかりであります。

御高承の如く、早いもので終戦後五十年を経過いたしました。一九四五年に終戦を迎えた日本は、アメリカ占領時代を経て、この間には、天皇の人間宣言や憲法の改正、農地解放、財閥の解体、教育制度と労働法の改革など、旧体制の改革が続き、高度経済成長期を経て富める国になってきました。

しかしその反面、消費は美徳、食糧飽食の時代、教育の自由、男女平等論、男女雇用機会均等法等々、戦後体制の急激な変化により「民主主義とは何か——」、明確に判断する暇もなく、そのまま自由を謳歌してきた感があり、未

曾有の繁栄をもちたらしめた裏側で、特に家庭教育、学校教育など、国民生活のひずみ、ゆがみは少しずつ拡大してきています。

しかるに、これからの五十年間は、二十一世紀を目前に迎え、政治も経済も教育も、ましては主権者たる国民においては、しっかりとアイデンティティを持ち、前半五十年の反省に立ち、世界の冠たる日本としての位置づけをなし得るために、政治も経済も国民も、明日は今日より豊かでありつづけるためにも、たった一回のバブル崩壊で意気消沈して狼狽することなく、今年こそは頑張り抜く子年でありたいと思います。

私も行政におきまして、公害、環境、高齢者福祉、行革、地方分権など難題は山積しています。が、「居眠り自治体」や「落っこち自治体」ではなく、「頑張る自治体」として、町民の皆様の負託にお答えすべく、職員一丸となつて頑張つてまいる所存でございますので、更なる町民の皆様の御指導御協力の程をお願いいたしますとともに、町民の皆様のますますの御健勝を祈念申し上げ、新年のあいさつといたします。



50年ぶりに慰霊

やはり 毎年夏まつりが
できるのが……

7年をふり返って

加治木町議会議長
溝口久男

当面する問題に 町民一丸となって

新年明けまして

おめでとうございます。

平成八年の年頭に当たり、一言
ごあいさつ申し上げます。

町民の皆様には、おすこやかに
輝かしい希望に満ちた新春を迎え
られましたことと心からお慶び申
し上げます。

昨年は一月十七日に発生した阪
神淡路大震災をはじめ、さる宗教
による反社会的な極悪非道の大事
件など、かつて経験したことのない
出来事の幕開けで、私たちの日
常生活にも強い危機感と不安をも
たらした年でありました。しかし
ながら、幸いにして、私たちの住
む近隣周辺はその影響もほとんど
なく、ひとまず一安心といったと
ころでありました。

また、四月には地方統一選挙が
行われ、改選された新しい議会構
成のもとに、今日まで大過なく議
会運営が行われてきたところであ
りますが、このことは、ひとえに
町民各位の深いご理解とご協力の
賜ものであり、心から敬意と感謝
を申し上げます。

さて、町民の長年の念願であつ
た文化会館「加音ホール」も三月

完成をめざし、十月オープンに向
け着々とその整備が進められてい
るところで、二十一世紀を間近に
ひかえ、本町の文化活動、福祉活
動の拠点として大いに活用が期待
されています。

また、本町の当面する今後の問
題として、高齢化社会、いじめ問
題で揺れる学校教育への対応、ス
ポーツ施設の整備充実、児童減少
に歯止めをかけた竜門、永原小
学校区への取り組みなど、まだま
だ重要課題が山積している現状で
あります。

これら諸問題を解決していくこ
とが、私どもに与えられた使命で
あります。そのためには、行政、
議会の努力はもちろんのことであ
りますが、町民の皆様方のご協力
なくしては達成できません。今後
とも、皆様方の力強い指導と鞭
撻を心からお願い申し上げる次第
でございます。

最後に、本年こそは国内外とも
平穏無事であることを願い、また
皆様方のますますのご健勝とご多
幸を祈念申し上げ、新年のごあい
さつといたします。

議会報告〔第四回定例会〕

補正予算

四億六千四百九十二万二千元

第四回町議会定例会は、十二月十二日から二十五日までの十四日間の会期で開催され、一般会計補正予算四億六千四百九十二万二千元や「政治倫理の確立のための加治木町長の資産等の公開に関する条例制定の件」、「助役の選任について議会の同意を求める件」など十四件の議案を可決、そのほか陳情や意見を審議しました。

◇

◇

◇

海浜通線街路事業費に

三億五千五百万円



21世紀にはばたく

木田振興地区

今回の補正で主なもの、文化会館「加音ホール」前の木田振興地区関連で、海浜通線の街路事業費三億五千五百万円ですが、これは公有財産購入費が大半を占めています。そのほか、文化会館の駐車場建設費（用地費を含む）五千二百万円や児童福祉施設費の扶助費三千五百万円などが計上され、本年度の予算総額は九十九億三千九百四十四万五千円となりました。加音ホール、海浜通線の完成を待ち、木田振興地区は一大空間都市と化すことになります。

町長の資産を公開するための 条例を制定

＜6月ごろから閲覧できます＞

先に国会議員の「政治倫理の確立のための資産公開等に関する法律」が施行されたことに伴い、各地方自治体の首長の資産の公開も義務づけられ、本町でも定例会で「加治木町長の資産等の公開に関する条例」が可決されました。この条例により、町長は四月四日までに自己の所有する土地や建物、預貯金など資産に関する報告書や所得等に関する資料を作成することになり、その資料は六月上旬には誰でも閲覧することができるようになりました。町では、これらの資料を「総務課」で申請によって閲覧できるよう準備を進めているところです。



就任のごあいさつ

町助役 下楠 蘭 仁

明けましておめでとうございます。町民の皆様には、御家族おそろいで輝かしい新春をお迎えになられたことと心からお慶び申し上げます。

さて、昭和六十三年一月、助役に就任以来、昨年十二月末をもって二期八年の任期満了となりました。この二期八年の間、

町長の補佐役として町政の進展のため微力を尽くしてこれましたのは、ひとえに町長をはじめ町議会議員並びに職員、町民の皆様方の御指導御鞭撻の賜ものと深く感謝申し上げます。

このたびは、はからずも三度選任の栄に浴し身の引き締まる思いでございます。

現在、当町には「文化会館」の建設運営をはじめ、小山田地区の開発、海浜通線等の街路事業の推進など多くの課題が山積

しております。このうえは浅学非才の私ではございますが、気持ちを一押し町長の補佐役としてこれらの課題と取り組み、町政発展のために努力して参る決意でございます。

なにとぞ、町民の皆様のおかげで、御支援御協力を賜りますようお願い申し上げます。

終わりに、町民の皆様のますますのご健勝を祈念申し上げます、再任にあたりましてのごあいさつといたします。

大空に水のアーチ

町消防出初式

正月恒例の町消防出初式は一月十一日、役場グラウンドで盛大に開催されました。

この日は、国分自衛隊音楽隊を先頭に各消防団、幼年消防隊、消防車のパレードで幕を明け、役場グラウンドでは、隊員らが規律訓練や消防ポンプ操法、放水演習などを披露しました。

表彰式関係(敬称略)

(日本消防協会会長表彰)

勤続章(30年)

西別府分団 分団長 鶴 幸雄

(鹿児島県消防協会総裁表彰)

勤続章(30年)

西別府分団 分団長 鶴 幸雄

勤続章(20年)



整然とパレードする隊員ら

功績章(20年)
功績章(20年)
功績章(20年)
功績章(20年)
功績章(20年)
功績章(20年)
功績章(20年)
功績章(20年)
功績章(20年)
功績章(20年)

功績章(20年)
功績章(20年)
功績章(20年)
功績章(20年)
功績章(20年)
功績章(20年)
功績章(20年)
功績章(20年)
功績章(20年)
功績章(20年)

功績章(20年)
功績章(20年)
功績章(20年)
功績章(20年)
功績章(20年)
功績章(20年)
功績章(20年)
功績章(20年)
功績章(20年)
功績章(20年)

功績章(20年)
功績章(20年)
功績章(20年)
功績章(20年)
功績章(20年)
功績章(20年)
功績章(20年)
功績章(20年)
功績章(20年)
功績章(20年)

功績章(20年)
功績章(20年)
功績章(20年)
功績章(20年)
功績章(20年)
功績章(20年)
功績章(20年)
功績章(20年)
功績章(20年)
功績章(20年)

功績章(20年)
功績章(20年)
功績章(20年)
功績章(20年)
功績章(20年)
功績章(20年)
功績章(20年)
功績章(20年)
功績章(20年)
功績章(20年)

功績章(20年)
功績章(20年)
功績章(20年)
功績章(20年)
功績章(20年)
功績章(20年)
功績章(20年)
功績章(20年)
功績章(20年)
功績章(20年)

功績章(20年)
功績章(20年)
功績章(20年)
功績章(20年)
功績章(20年)
功績章(20年)
功績章(20年)
功績章(20年)
功績章(20年)
功績章(20年)

功績章(20年)
功績章(20年)
功績章(20年)
功績章(20年)
功績章(20年)
功績章(20年)
功績章(20年)
功績章(20年)
功績章(20年)
功績章(20年)

功績章(20年)
功績章(20年)
功績章(20年)
功績章(20年)
功績章(20年)
功績章(20年)
功績章(20年)
功績章(20年)
功績章(20年)
功績章(20年)

功績章(20年)
功績章(20年)
功績章(20年)
功績章(20年)
功績章(20年)
功績章(20年)
功績章(20年)
功績章(20年)
功績章(20年)
功績章(20年)

功績章(20年)
功績章(20年)
功績章(20年)
功績章(20年)
功績章(20年)
功績章(20年)
功績章(20年)
功績章(20年)
功績章(20年)
功績章(20年)

功績章(20年)
功績章(20年)
功績章(20年)
功績章(20年)
功績章(20年)
功績章(20年)
功績章(20年)
功績章(20年)
功績章(20年)
功績章(20年)

西別府分団 団員 向江洋行
錦江分団 団員 北園正道
〔鹿児島県消防協会始良伊佐支部長表彰〕

勤続章(15年)

錦江分団 班長 大串敏之

西別府分団 団員 中山正行

小山田分団 団員 福元 剛

(町長表彰)

勤続章(35年)

辺川分団 分団長 大宮路五男

中央分団 部長 犬童政武

勤続章(30年)

町消防団 副団長 市来原松義

小山田分団 分団長 田中健二

中央分団 分団長 大山一男

西別府分団 部長 西村 勝

勤続章(25年)

小山田分団 部長 川原輝夫

西別府分団 班長 今村芳男

勤続章(20年)

錦江分団 分団長 桃木野一男

錦江分団 部長 戎 孝

小山田分団 班長 山元 司

勤続章(15年)

西別府分団 団員 中山正行

小山田分団 団員 福元 剛

勤続章(10年)

錦江分団 班長 川畑 實

錦江分団 班長 堀之内敏則

錦江分団 班長 川野一豊

西別府分団 団員 向江洋行



よろしくお願いします

親子で

消防団員

昨年九月、辺川分団に入団した岩元水津瑠さんは、副分団長の岩元道男さんの長男。町内でも親子そろっての入団はめずらしく、団員らの話題になっています。がんばってください。



真剣なまなざし



放水演習でアーチ

うれしい悲鳴

錦海漁協



どれも 安いわ

師走も押し迫った十二月二十四日、錦海漁協ではお正月用の朝市が開催されました。
この日は、にわか店と化した錦海漁協事務所の駐車場に魚貝類などの海産物が所狭しと並べられ、朝早くから押し寄せたお正月の人でごった返し、注文する声も届かないほどの繁盛ぶり。大きいブリを一人で何匹も注文する人もあり、組合員らはうれしい悲鳴をあげていました。

おおぜいの人ぞにぎわう

陶器まつり



ロクロ回しの実演に見入って

師走恒例の陶器まつりが十二月九日と十日の二日間、小山田の龍門司焼窯元で開かれました。
龍門司焼といえば、薩摩焼を代表する焼き物であるとともに、加治木の名特産品。工房内には非売品になっている県文化財指定の三彩焼などの逸品が展示され、県内各地から訪れたお正月の人たちは、「ほう、さすがだ」と魅入られたようにその前に立ち尽くしていました。
また、湯飲み茶碗などがかねてより格安とあって、販売所は手に手に焼き物を持った人でごった返していました。



早く大きくなって



重たいよ…

モチつきと馬踊りで交流

木田青壮年会と
加治木養護学校

木田青壮年会（徳永満会長・会員八十二名）は十二月十六日、南九州病院内の加治木養護学校とモチつきや馬踊りで「地域ふれあい交流会」を開催しました。

これは、同会が「モチ米を作って木田ならではの社会貢献をしよう」と一昨年から実施しているもので、この日参加したのは三十人余り。養護学校の生徒らは経験のないモチつきにすずんで挑戦し、重いキネを青壮年会員の介添えで持ち上げて楽しそうにっていました。

また、その合間に、沢崎菊男さんの好意により、木田地区の伝統行事「馬踊り」が披露されると、子どもたちの興奮度は最高潮に。みんなはひと休みしたポニーに恐る恐る近づき、自分の手で馬の毛並みを確かめて最高の笑顔を浮かべていました。徳永会長は「子ども

たちがあんなに喜んでくれるなんて、とてもうれしいです」と、反対に子どもたちの喜ぶ姿に感激した様子でした。
モチ米は、鹿児島神宮に寄進したほか、望岳園、地区公民館、加治木小、町などにお正月のモチつき用に贈呈されました。



ポニーはかわいいなあ

コイを放流

網掛川
漁協

網掛川漁協は十二月二十一日、町内の川にコイの稚魚「二百」を放流しました。

この日は、小山田、辺川、龍門滝下流など七か所に小宮路東組合

長らが次々に放流。それまでグツタリしていた体長十五センチ余りのコイは、「水を得た魚」のことわざどおり、元気に川に飛び込んでいきましました。



みんなしんけんに

加治木町赤十字奉仕団結成式が十二月十九日、福祉センターで開催されました。

これは全国ネットの組織で、県内の団体は八十八を数え、団員は六万人余り。加治木の団員は二十名で、結成式にのぞみ、奉仕団の委員長に就任された西山久さんは「赤十字の基本理念に基づき、この奉仕団の輪を広げ、災害時など身近なボランティア活動として炊き出しなどをしていきたい」とあいさつしました。

身近なボランティアを

加治木町赤十字奉仕団結成式



さすがは年の功、立派です

下楠園勲さん（楠園自治会・八十九歳）は十二月二十六日、柁城小子供会育成連絡会のメンバーと柁城小学校の正門に大きなしめ縄を飾りつけました。

このしめ縄は、下楠園さん手作りのもので、正月には欠かせない縁起物。昔から手先が器用な下楠園さんは、竹ボウキやしめ縄作りはお手の物で、木田地区に加治木小学校が出来てからというものの毎年、子どもたちの学業向上を願って正門にしめ縄を飾りつけてきました。今年から柁城小学校にも飾ることにしたものです。

柁城小正門にしめ縄飾り

下楠園 勲さん



快調に走っています



おめでとうございます

防犯栄誉銅章を授与

坂元 信男さん

このほど、新生町の坂元信男さん（サイクルショップきかもと・六十六歳）が全国防犯協会連合会の「防犯栄誉銅章」を授章されました。

坂元さんは、昭和四十四年からこれまで加治木警察署管内の少年補導員として、地域安全活動に尽力され安心した街づくりに貢献し

してこれ、平成二年には九州地区の表彰も受賞されています。

坂元さんは「これまでいろいろありました、私が指導した少年が立派になっているのを見かけたときはうれしいですね」と、苦労の実に花が咲くのを心待ちにしてるようでした。

おめでとうございます。

町一般グラウンドゴルフ大会

日時 12月10日

場所 町営運動場

成績（敬称略）

優勝：日高勝チーム▽二位：三宅

松江チーム▽三位：日高和子チーム▽四位：佐藤田鶴子チーム▽五位：向江利治チーム

町ジョギング大会

寒風について

日時 12月17日

場所 龍門小学校周辺

成績（敬称略・優勝のみ）

〔女子の部〕

・小学生の部（3キ）

山口玲奈 12分04秒

・中学生の部（3キ）

山元智美 13分02秒

・一般の部（3キ）

坂元ヨリ子 13分57秒

〔男子の部〕

・小学生の部（3キ）

犬童健作 11分45秒

・中学生の部（5キ）

市来城児 21分07秒

・一般の部（5キ）

大木兼次 19分15秒

・一般の部（10キ）

松岡和久 41分35秒

・オープン（10キ）

重信秀秋 37分40秒

溝辺町

グリーン

エアポートフェスタ「春」

期日 3月17日(日)

・完走歩大会 5・10・15コース

場所 鹿児島空港北側

・クロスロードフェスタ

国際交流を中心とした文化の祭典として実施、また鹿児島の特

産品PRの場、市町村間の交流

の場として会場を開放する。

場所 溝辺町総合グラウンド

問い合わせ先

溝辺町役場生涯学習課

☎58-3191

国分市

第5回国分テクノマラソン大会

出場者募集

期日 3月10日(日)

場所 国分市上野原テクノパーク

種目 完走歩の部(3・5・10)

駅伝の部(13・3・3)

・一般(中学生以上)

コース7区

・少年(スポーツ少年団等)

コース9区

申込先 国分市教育委員会社会体

育課内「国分テクノマラソン実

行委員会事務局」

☎45-5111内線431

申込締切り 2月9日(金)



隼人町

鹿児島神宮

初午祭

3月10日

期日 3月10日(日)

隼人の春は初午とともにやってきます。

祭りは、万物のうごめく旧暦一月十八日に近い日曜日。そろいの着物に薄化粧の娘たち、ハッピ姿にほろ酔いの男たちが華やかに装い、囃子唄や三味線、太鼓、鉦、手拍子に合わせ、馬は首にも体にもたくさんの鈴をかけ、鹿児島独特の金具飾りの鞍に米俵や五色の布で飾り、御幣や紙張りの豆太鼓を差して競うように踊ります。参道は、数百の露店、三〇万人の人数でにぎやかに埋めつくされていきます。



加治木町木田の御神馬

新しい全国総合開発計画に

関する意見を募集

国土審議会計画部会では、次のとおり新しい全国総合開発計画に関する意見を募集します。

記

1、提出方法

郵送、FAX及びパソコン通信等

2、締切り 3月31日

3、提出先

国土審議会計画部会事務局

国土庁計画・調整局内

(郵送) ①一〇〇 東京都千代田区霞が関1-2-2

(FAX)

03-3504-2725

(パソコン通信)

SHB01107

Nifty-Serve

4、記載要領

① 住所、職業、年齢、性別、氏名を明記。(記載のないものは受け付けません。)

サラリーマンで

確定申告を

される方へ

税務署

○年末調整で特別減税の手続きはお済みですか?

平成7年分の確定申告では、年末調整で特別減税額が控除されている源泉徴収票が必要です。

○まだお済みでない方は!

年末調整で特別減税額が控除されていなかったり、正しく控除されていない場合には、勤務先において年末調整の再計算をして、正当な源泉徴収票を再交付してもらう必要があります。

※詳しいお問い合わせは……

加治木税務署個人課税部門

☎62-2161

国土庁

② 様式は自由ですが、A4版横書き。

5、意見の取り扱い

① 寄せられた意見は、新しい全国総合開発計画策定の参考になります。

② そのまま公表することはありません。

③ 個人の意見に対する返事はいたしません。

アンのEYE・アイ・



臭いものに

ふたをする



私が来日して気づいたことは日本には多くのニュース会社があり、多くの新聞があるということ、しかもどれを見ても、あまり社説に変わりがありません。言論の自由という民主主義の一つの基本は、世界で健全な民主主義社会が存在するのが特徴とされています。自由な議論と発言の意見の多様性、つまり討論があるということです。

しかし私が感じていることは日本では同じ事件について、それぞれいろんな立場から報じる放送はあまりなく、また個人間でも「和」を大事にする日本人は、自分たちの間に討論の習慣はあまりなさそうです。

加治木で私が実施している英会話教室の参加者に初めて意見を聞いた時、一人二人くらは積極的に返事しましたが、多くの人はそれまで自分の意見を人前で表現する機会が少なかったようで、そのときは非常に抵抗があったようでした。しかし、このごろは全然違います。にぎやかに討論したり、一緒に大声

で笑ったり、深いところまで話ができたり、私にとっては教えるよりも多くのことを学ぶことができる、今では大変素晴らしいことだと思っています。

「和」という概念はいろんなことがスムーズに流れますが、一方では進歩の壁になる場合もあると思います。なぜならば、「和」によって多くの事を話題にするのが難しくなり、恥ずかしくて社会問題などは存在しないかのようなふりをします。話題になれない問題はもちろん解決できません。

私は毎日英字の読売新聞をもらいます。そしてよく日本語の新聞も読みますが、気になるのは多くの英字新聞に載っている記事が日本語版には載っていないということ。ですから、日本人の人の世界観だけでなく自分の社会の見方も非常に限られてくるという気がします。そこで元ロス・タイムズの記者で最近読売英字版に載った「日本滞在のアジア人の待遇」についての記事を以下に翻訳して要約してみました。

◇ ◇

最近大きな話題となった大阪で開かれたASEAN会議で、日本はアジアのメンバーとして二十一世紀の経済発展に向かって頑張っていこうとする多くの政治的発表がありました。しかし、日本滞在中のアジア人はこの出来事をどのように見ているのでしょうか。日本ではほとんどの不動産屋がアジア人がアパートを借りるのを拒否し、多くの会社では昇進の可能性のある仕事を与えられないし、周りの日本人の見下した態度に苦しんでいるのは日常茶飯事です。日本では、社会福祉の権利や恩恵は日本の国籍がある事に基づいているので、法律では外国人を守れないのです。日本の国籍を得ることはほとんど無理であり、年金がもらえないのに、毎月外国人の職員は年金保険料を支払わさせられているのです。

一年ほど前の関西大震災のような非常時に、日本人の被害者以外は政府からのお金や援助は受けられません。法律により日本滞在中の外国人が同じ税金などを払っても、政府の援助は全然受けられないのです。

また、未婚のタイ人女性と日本人男性の間に日本で生まれた赤ん坊は日本人としての国籍を認められていません。国民に与えられている当然の権利は彼ら

に与えられていないのです。

現在、円高の状況でアジア各地から多くの野心的な労働者を引きつけているのに、最近多くの差別を受けた体験により、この十年毎年増加していたアジアの留学生の数が去年初めて減少を示しました。

貯金を母国に送金するため、ある程度差別を我慢できる労働者ではなくて、大部分の不満は留学生からのものです。それら一流のアジアの若い人たちは、将来それぞれの国の政治やビジネスリーダーになる可能性が高いので、結局彼らの日本での苦い経験は日本の将来のためにならないのです。日本のアジア文化協会の相談室に二十年前から働き、毎年、在日中の約六千人の学生から相談を受ける「素原さとし先生」によると、「アジアの若い人たちが大きな希望を持って来日するが、日本での体験により、日本に対するイメージが暗いものになってきます。日本の植民地時代の人的経験のないアジアの若い世代の人たちは、過去の日本の民族的文化的な優越感に変化したと言うことを表す機会が与えられました。かえって、第二次世界大戦の日本からの苦い思い出よりも、彼らは差別を受けた経験が昔の国民の日本に対する悪い感情をあらためて強くしています」

また素原さんはこうも言っています。「アジア関係について日本政府がいくらきれいごとを言っても、日本滞在中のアジア人の心を傷つけ続けているので日本人は信用されてない」

例として、研修生のインドネシア出身のイクーさんは、インドネシア政府の宇宙研究のプロジェクトの技術を上達させるため八年前日本に配置されました。インドネシアでは、日本が植民地とした三年間が、その前の三百五十年間の植民地化された時代よりもひどかったとよく言われていますが、イクーさんはこれは若い人には関係ないと思っていました。「しかし、来日して日本人がどうやって弱い人を苦しめているのかを見て、日本人の性格の暗い部分を分るようになってきました。日本が世界でもっと強いリーダーシップの役割を果たすのは怖い」と彼は言いました。

一九七五年から来日留学生の体験を調査している慶應大学の岩雄澄子先生によると、「日本に対するイメージが時間がたつとよくなる欧米人に比較してみれば、アジア人の日本に対する見方がだんだん暗くなってきました。日本に長く住み、言葉が上達するにつれ、遠ざかる感情が強くなります」と言っていました。

椋鳩十

「紀要」発刊のお知らせ

椋鳩十文学記念館は、開館六年目の運営がなされている作今である。

開館当時から、年四回館報をつくり、また、広報かじきで毎号、椋鳩十・人と文学及び文学記念館の状況等について、町民をはじめ全国の皆さんへ情報を送って、今日に至っている。

この度、「紀要」を編集し、まとめた研究誌として刊行したく考え、目下その編集作業に取りかかっているところである。発刊は三月末の予定。

以下、紙面の許す範囲でその概要をお知らせしたい。

① 刊行のねらい

・椋鳩十文学記念館の位置づけを、全国に、より濃厚に紹介したい。

・椋鳩十・人と文学について、その研究の層を、より広く、深くしたい。

② 年一回刊行継続させる。

③ 創刊号の執筆依頼（敬称略）

・小宮山量平（長野県）

「椋鳩十の本」全25巻。発行理論社顧問

・鳥越 信（大阪市）

元・早稲田大学教授

椋鳩十文学研究家

・久保田喬彦（鹿児島市）

椋鳩十（久保田彦穂）ご長男

鹿児島市教委文化課勤務

・中野哲二（鹿児島市）

鹿児島経済大学名誉教授

・福田敏之（鹿児島市）

南日本放送、相談役

・坂井ひろ子（大野城市）

児童文学作家

・「小さい旗」同人

・松永伊知子（根室市）

北海道根室市図書館司書

・親子読書運動実践家

・生駒忠一郎（愛知県）

・椋鳩十の生涯「風のごとく」の著者

・斉藤きみ子（こしき島）

児童文学作家

・日本児童文学者協会会員

・榎園高雄（加治木町）

椋鳩十文学記念館長

・編集委員（敬称略）

・新納教義

（県芸術文化振興会議、会長）

・二見剛史

（鹿児島女子大学教授）

・羽島さち

（みなみの手帖・主宰）

・島野洋子

（椋鳩十文学研究家）

（椋鳩十文学記念館長 榎園高雄）



乙女となりしか鍵つきの日記買ふ

曾孫の賀状くるまで生きようか

通夜の座を外し仰げり冬銀河

草じらみ老いも幼なも完歩賞

悩めるはひと日で足れり冬の虹

木枯に背を押されて承らへり

獣性を暴く冬ざれのピカソ展

長髪をばつさり刈って年用意

白木蓮の冬芽の占むる空深し

木の葉髪鏡の中に父を見る

菊鉢を並べて近し婚礼日

火の山に後光添えたる冬の虹

白杖に人の温みや術師走

萩之内幸子

恒吉 斗南

川崎 黒兎

白尾 澄子

古江 重美

神村 洋子

稲恒やすお

園田 千秋

加藤 白柳

竹山 洋子

柳田 稔

岩田美知江

高木 正男

ご存じですか？ 介護支援センター

お年寄りのことなら
何でもおまかせください。

- 相談は無料です。まずお電話ください。
相談員と看護婦が相談にうかがいます。
- ・在宅介護の相談
 - ・ホームヘルパー派遣
 - ・介護用品の紹介や使用方法等の助言
 - ・デイサービス事業
 - ・ショートステイ事業
 - ・福祉サービスの申請や手続き



加治木町在宅介護支援センター
☎62-3553（加治木望岳園内）

「クレジット・サラ金」一〇番を開設

深刻な社会問題となっている
クレジット・サラ金問題——。

これに法的救済を図ろうと県青年司法書士会では、次のとおり
電話による無料相談所を開設し
ます。

日時 2月24日（土）
午前10時～午後4時まで
場所 県司法書士会二階
方法 電話による無料相談
☎099-254-9822
相談員 司法書士10名

記

さつま狂句

▼兼題「皴」 柳 牛尾先生 選

天 出張い前 皴を隠そち せつべ塗つ

唱 おめかすすればやつぱい若けど（鮫島四男坊）

地 成功げつ 貫禄く添えた 深か皴

唱 押しも押されん立派な旦那（小濱礼香）

人 百歳の 皴い優しか 目が笑つ

唱 まこて柔和なよか顔じゃいこつ（市成早乙女）



親子映画鑑賞会

(福祉センター)
お休み

(棕鳩十文学記念館自由の館)
日時 2月25日(日) 10時

映画 ①りゅうの目に涙

②ゆきこちゃんこにちは

主催 加治木町親子映画会

※無料ですので児童・生徒・親子多数ご鑑賞ください。(都合によりフィルムを変更する場合があります。)

うぶ声



出生児

保護者

自治会

吉海 瑞姫

高史

原ノ門

満木 夢菜

広志

西江口団地

鍋島 龍誠

浩二

上木田

北原 瑠菜

政宣

柳田

山崎 友貴

忠久

田中

野間 聖也

博人

西塩入下

東 美香

繁雄

岩原西

岩元 友香

幸二

札立

吉田 隼涼

敏一

赤坂

吉松 星奈

修一

原ノ門

平石 亜希

充男

豊町

交通災害共済 保険に加入しましょう

●三つの特点

①安い掛金

一人年間……五百円

②手続きは簡単

役場住民課で

③見舞金はこんな時

ケガで入院・通院が7日以上
上のとき

・いつでも住民課で
受けつけています。

くわしくは……

☎六二二二二二(内線二二〇)

すべて道路上の事故が対象

御寄付

社会福祉協議会へ

香典返しのかわりに
御寄付をいただきました。
厚く御礼申し上げます。
ごめい福をお祈りいた
します。(内は故人

二万円 吉原 白石良一(母 マツハ)
五万円 西諏訪 幾留武雄(妻フミ枝)

無料 人権法律相談

鹿児島地方事務局加治木支
局のほか、次の人権擁護委員
の方々が、自宅でも御相談に
応じています。

お気軽に御相談下さい。

秘密は、固く守られます。

郡山政弘 木田一六三三一

(☎63-3585)

中摩多美子 反土二七五六

(☎62-2768)

篠崎利治 木田四二四二

(☎63-5175)

久木田拓海 徹
乙田美咲 竜二
野村健士 義文
川崎桃子 健二
鯨島博也 博之
竹下寛之 宏
▽12月20日までに住民台帳に記載
された分を掲載いたしました。

東諏訪 上木田 布吉 於下
下 濱

平成8年 2月在宅医表

4	壱岐内科	内科・小児科 循環器科 加治木町諏訪町196 ☎62-2222
11	松本外科	外科・胃腸科 加治木町木田724 ☎63-1911
12	玉利医院	内科・皮膚科 加治木町本町118 ☎62-2328
18	加治木整形外科	整形外科 理学療法科 加治木町港町147-2 ☎62-3711
25	松元医院	内科 溝辺町有川231 ☎59-2823

※診療時間は午前9時から午後5時まで。(原則として)
※当日の往診ならびに緊急以外の受診は御遠慮ください。
日曜・祝日 歯科救急診療 10時~15時 郡歯科医師会館
口腔保険センター (0995-58-4388・溝辺町空港近く)

特別寄付

一三、九七四円
石野重夫氏 小山田五四〇二
毎年こつこつ貯められ、今回で
五年連続です。(12月11日)
合計(一九一、七三九円)

記事訂正とおわび

12月号の記事中誤りがありまし
た。深くおわびし訂正します。

(敬称略)

6才「東京発ふるさと便」中

臺岐健志さん・壹岐健志さん

12才「うぶ声」中

吉原末華・吉原末華

小湊亮祐・小湊亮佑

毎月15日は

防火の日